

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	経済学	
科目基礎情報							
科目番号	0066		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	都市環境デザイン工学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	なし／一橋大学イノベーション研究センター編（2001）、『イノベーション・マネジメント入門』、日本経済新聞出版社。						
担当教員	市川 英孝						
到達目標							
1. イノベーションについての基礎理論を理解し，説明できる。 2. 技術経営論についての基礎理論を理解し，説明できる。 3. これからの予測困難な将来の技術動態について予測し，説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	イノベーションについて深く理解し，詳細に説明できる。		イノベーションについての重要性をおおよそ理解し，説明できる。		イノベーションについての重要性の理解も乏しく，説明できない。		
評価項目2	技術経営論について詳細に解釈し，説明できる。		技術経営論についておおよそ解釈でき，説明できる。		技術経営論について解釈できない。		
評価項目3	これからの予測困難な将来の技術動態についてより深く予測し，詳細に説明できる。		これからの予測困難な将来の技術動態について予測し，おおよそ説明できる。		これからの予測困難な将来の技術動態についての予測，説明ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	イノベーションについての理解を深める。これからの技術動態が大きく変化する中で、そのマネジメントをどうすべきか、予測が困難な環境のもと、向かうであろう方向を予測し、適切に対応する可能性を追究する。						
授業の進め方・方法	本科目は配布資料，スライド資料，板書に従って行う。						
注意点	本科目は配布資料，スライド資料，板書に従って行う。 本科目は学修単位（講義Ⅱ）であり、自学自習(210分)が学習時間として割り当てられていることに留意し、自ら授業の予習・復習に努め、毎時の授業内容を確実に理解することを求める。試験においては自学自習を当然行ったものと前提して評価する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1.イノベーションとは①		□イノベーションとその発展と歴史について理解する。		
		2週	1. イノベーションとは②		□イノベーションとその発展と歴史について理解する。		
		3週	2.イノベーションのパターン①		□イノベーションの発生と普及、進化について理解する。		
		4週	2. イノベーションのパターン②		□イノベーションの発生と普及、進化について理解する。		
		5週	3.イノベーションと企業活動①		□企業が行うイノベーションについて理解する。		
		6週	3. イノベーションと企業活動②		□企業が行うイノベーションについて理解する。		
		7週	3. イノベーションと企業活動③		□企業が行うイノベーションについて理解する。		
		8週	3. イノベーションと企業活動④		□企業が行うイノベーションについて理解する。		
	2ndQ	9週	3. イノベーションと企業活動⑤		□企業が行うイノベーションについて理解する。		
		10週	3. イノベーションと企業活動⑥		□企業が行うイノベーションについて理解する。		
		11週	4.イノベーションの社会への影響①		□イノベーションによる社会変化について理解する。		
		12週	4.イノベーションの社会への影響②		□イノベーションによる社会変化について理解する。		
		13週	4.イノベーションの社会への影響③		□イノベーションによる社会変化について理解する。		
		14週	4.イノベーションの社会への影響④		□イノベーションによる社会変化について理解する。		
		15週	試験答案の返却・解説		試験において間違えた部分を自分の課題として把握する（非評価項目）。		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0